



楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第14号

平成21(2009)年9月14日

児童数：381名

電話：77-2030

Fax：77-6733

「生きる力」が育っている いしべっ子の



課題

(昨年度と同じところが落ち込んでいます)

- ① 朝食を食べている子が少ない (－8ポイント) 全国や滋賀県と比べて
- ② テレビゲームの時間が長い (1時間以上ゲームする子が、＋13ポイント)
- ③ 家庭学習が少ない (月～金：30分より少ない子が、＋8ポイント)
(土・日：1時間より少ない子が、＋12ポイント)
- ④ 読書する子が少ない (10分以上読書する子が、－13ポイント)
- ⑥ 地域行事に参加し、挨拶する子が少ない (－16ポイント)
- ⑦ 考えを文章に書くことが苦手 (－14～－20ポイント)



— 平成20・21年度「全国学力・学習状況調査結果」より —

校長 谷口 茂雄

今年も「全国学力・学習状況調査」の結果が、発表されました。

この調査で明らかになるのは「学力の一部」であり、統計上意味のある差(＝有意差)とされる5ポイント以内の数字を示して、上位下位などと騒ぐのは、「新しい学力観」からして正しくありません。

昔は、先生から習ったことをどれだけ覚えているかで学力を測りました。

これからの「新しい学力観」では、

※ 自分で課題を見つけること。

※ 自分にとって、本当に必要な情報を選択すること。

※ 自分で考えて判断し、行動すること。

※ よりよく問題を解決し、表現すること。

このような事柄を大事にしていきます。「生きる力」と呼んでいます。

石部小学校の子どもたちは、「生きる力」が育っています。

そのように言い切れるのは、裏面のように思っている子が、全国や滋賀県より5ポイント以上多いからです。

＜いしべっ子のプラス意識＞

- ◎自分には、よいところがある。
- ◎最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ◎将来の夢や目標を持っている。
- ◎今住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。
- ◎難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

去年も今年もです。今年の子だけが、良い結果を出しているのではありません。「石部の子どもの良いところ」とまとめることが出来るそうです。

しかしながら、手放しで喜べない結果が、標準枠囲みの①～⑦です。今年だけの結果ではありません。去年も今年も、同じ質問項目が、落ち込んでいます。

①と④は信じられない気もします。

①の「朝ご飯」は、石部の子どもの8割が「食べている」と答えていますが、全国や県では、約9割の子が「食べている」と答えているのです。

④は、朝の読書を継続し、図書ボラさんも活躍していただいているのですが、全国や県の子どもたちは、もっと本を読んでいます。

そこで**対策**です。**学校では、**

- ◆ 授業中に考えを書く時間を、各教科や道徳の時間で重視します。
- ◆ 読書をする習慣づけを更に強化します。
- ◆ 地域の人と挨拶することを、更に指導します。
- ◆ 宿題の中身や出し方を含めて、家庭学習がしっかり出来る指導を工夫します。

家庭では、

- ◎ 朝ご飯をしっかり食べさせてください。
- ◎ テレビゲームの時間を短くするよう、話し合ってください。
- ◎ 家庭学習をしている姿を見つけて、ほめてください。
- ◎ 「地域の人と挨拶するんやで」との声かけを続けてください。

地域では、

- ◎ 地域の行事に、子どもが参加する工夫をお願いします。
- ◎ 登校や下校の時の子どもに、声かけを続けてください。



保護者や地域の方々と力を合わせて、子ども育てに当たりたいと思います。ご協力をどうぞよろしくお願いします。

埼玉県議会の視察を受けました



9月8日(火)午後、埼玉県議会文教委員会の議員11名と埼玉県教委教育長はじめ5名の事務局員、滋賀県教委3名。合計19名の方が、石部小学校の学校応援団の取り組みを視察されました。

校長が、「つなぐ」をキーワードにして、学校・地域・家庭連携の考え方と、学校応援団の取り組みを説明し、その後、学校応援団事務局、郷土学習資料室、学校資料室を見学していただきました。

市教委から奥村教育長も来校され、広部会長・谷副会長・青木副会長・校長・教頭・学校応援団事務局員(木村・向井)で対応致しました。